

○ 教科の目標と年間計画

国 語 科

学習指導要領	○知識及び技能
	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
	○学びに向かう力、人間性等
	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

本校国語科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第1学年	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
第2学年	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
第3学年	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

道徳教育との関連

思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにするとともに、我が国の言語文化に親しむ。

【年間計画】

学期	1 年	2 年	3 年
一 学 期	風の五線譜 話し方はどうか 詩の心―発見の喜び 文法の窓 文法とは・言葉の単位 飛べ かもめ さんちき 接続する語句・指示する語句 オオカミを見る目 文法の窓 文の成分・連文節 碑	未来へ 手紙の効用 短歌を楽しむ 短歌五首 日本探検 話し言葉と書き言葉 字のない葉書 辞書に描かれたもの 日本語探検 敬語 ハトはなぜ首を振って歩くのか 文法の窓 用言の活用 郷土のよさを伝えよう	生命は 二つのアザミ 俳句の読み方、味わい方 日本語探索 和語・漢語・外来語 形 百科事典少女 熟語の構成・熟字訓 絶滅の意味 編集して伝えよう 恩返し井戸を掘る
二 学 期	私のタンポポ研究 方言と共通語 月夜の浜辺 移り行く浦島太郎の物語 伊曾保物語 竹取物語 矛盾	卒業ホームラン 黄金の扇風機 サハラ砂漠の茶会 文法の窓 助詞 枕草子・徒然草 平家物語 漢詩	幸福について 文法の窓 曖昧な文・分かりづらい文 初恋 万葉・古今・新古今 おくのほそ道 論語 日本語探索 言葉の移り変わり
三 学 期	少年の日の思い出 文法の窓 名詞 風を受けて走れ ニュースの見方を考えよう 文法の窓 連体詞・副詞・接続詞・感動詞 漢字の成り立ち	文法の窓 助動詞 走れメロス 鰯節―世界に誇る伝統食 日本語探索 類義語・対義語 「正しい」言葉は信じられるか	故郷 何のために「働く」のか いつものように新聞が届いた ―メディアと東日本大震災 文法の窓 文法のまとめ

社 会 科

学習指導要領	○知識及び技能
	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	○学びに向かう力、人間性等
	社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養う。・多角的な思考や理解を通して涵かん養される地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

本校社会科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地理	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。
歴史	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。また、「部落史」に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色、また、「部落史」にかかわる事象をふまえて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象、特に、「部落史」にかかわる事象をふまえて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。
公民	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

道徳教育との関連

- ・主体的に社会参画し、その役割と責任を果たすために自分の生きている身の回りを含めた社会に関わる態度を育み、よりよい社会の実現のために寄与する態度を養う。
- ・グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民的としての資質・能力の基礎を育成する。

【年間計画】

学期	1 年	2 年	3 年
一 学 期	〈地理的分野〉 持続可能な社会の 実現に向けて（地理） 1 編 1 章 世界の姿 1 編 2 章 日本の姿 2 編 1 章 世界各地の人々の 生活と環境	〈歴史的分野〉 第1章 歴史のとらえ方 第2章 古代までの日本	〈歴史的分野〉 第6章 二度の世界大戦と 日本 第7章 現代の日本と世界 〈公民的分野〉 第1編 私たちと現代社会 第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法 1. 法に基づく政治と日本国憲法
二 学 期	2 編 2 章 世界の諸地域 〈歴史的分野〉 第1編 私たちと歴史 第2編 古代までの日本と世界 第1節 人類の始まりと文明 第2節 日本列島の人々と国家の形成 第3節 古代国家の展開	第3章 中世の日本 第4章 近世の日本	2. 日本国憲法と基本的人権 3. 日本の平和主義 第2章 民主権と日本の政治. 1. 民主政治と政治参加 2. 国の政治のしくみ 3. くらしを支える地方自治 第3編 私たちの生活と経済 1. 経済のしくみと消費生活 2. 生産の場としての企業
三 学 期	3 編 1 章 地域調査の手法 3 編 2 章 日本の地域的特色 と地域区分 3 編 3 章 日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方	第5章 開国と近代日本の歩み 〈地理的分野〉 第3章 日本の諸地域 中国・四国地方～北海道地方 第4章 身近な地域の調査	3. 金融のしくみとお金の大切さ 4. 財政と国民の福祉 第4編 私たちと国際社会 1. 国家と国際社会 2. 国際社会の課題と私たちの 取り組み

数 学 科

学習指導要領	○知識及び技能
	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
	○学びに向かう力、人間性等
	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

本校数学科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第1学年	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。
第2学年	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。
第3学年	数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

道徳教育との関連

道徳的判断力の育成。また、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養うことによって、工夫して生活や学習をしようとする態度を養う。

【年間計画】

学期	月	1 年	2 年	3 年
一 学 期	4	1章 正の数・負の数 正の数・負の数 正の数・負の数の計算 正の数・負の数の利用	1章 式の計算 式の計算 文字式の利用	1章 式の展開と因数分解 式の展開と因数分解
	5		2章 連立方程式 連立方程式 連立方程式の利用	式の計算の利用
	6			2章 平方根 平方根 根号をふくむ式の計算
	7	2章 文字の式 文字を使った式 文字式の計算	3章 一次関数 一次関数とグラフ	3章 二次方程式 二次方程式 二次方程式の利用
二 学 期	9	3章 方程式 方程式 方程式の利用	一次関数と方程式 一次関数の利用	4章 関数 $y=ax^2$ 関数とグラフ 関数 $y=ax^2$ の値の変化 いろいろな事象と関数
	10	4章 変化と対応 関数	4章 図形の調べ方 平行と合同	5章 図形と相似 図形と相似
	11	比例 反比例 比例, 反比例の利用	証明	平行線と線分の比 相似な図形の計量 相似の利用
	12	5章 平面図形 直線図形と移動 基本の作図 円とおうぎ形	5章 図形の性質と証明 三角形 四角形	6章 円の性質 円周角と中心角 円の性質の利用
三 学 期	1	6章 空間図形 立体と空間図形 立体の表面積と体積	6章 確率 確率の意味 確率の求め方	7章 三平方の定理 三平方の定理 三平方の定理の利用
	2	7章 資料の活用	7章 箱ひげ図とデータの活用	8章 標本調査 標本調査
	3	資料の傾向を調べよう	データの分析と問題解決	

理 科

学習指導要領	○知識及び技能
	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	○学びに向かう力、人間性等
	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

本校理科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第1分野	物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して考察し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする力を身に付けるようにする。
第2分野	生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して考察し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする力を身に付けるようにする。

道徳教育との関連

生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、生命の尊さ、自然愛護の精神を養う。

【年間計画】

学期	1 年	2 年	3 年
一 学 期	1. 自然の中にあるる生命 いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類 2. 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質と その性質 2章 いろいろな気体と その性質	1. 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量 2. 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりと はたらき	1. 生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と 進化 2. 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩
二 学 期	3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化 3. 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	3章 動物の体のつくりと はたらき 4章 動物の行動のしくみ 3. 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の ようす 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と 大気の動き 4章 大気の動きと 日本の四季	3. 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーと その移り変わり 5章 エネルギー資源と その利用 4. 宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き
三 学 期	4. 活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	4. 電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	3章 月と金星の動きと 見え方 5. 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の 利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会を めざして

音 楽 科

学 習 指 導 要 領	○知識及び技能
	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
	○学びに向かう力、人間性等
	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

本校音楽科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第1学年	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について感じ取るとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協同的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することで、音楽に対する感性を豊かにし、音楽文化に親しむ。また、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を育てる。
第2学年及び第3学年	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、豊かな感性、豊かな情操を培い、音楽文化に親しむ。また、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

道徳教育との関連

様々な音楽活動の経験を通して、向上心、個性を伸ばすとともに、美しいものや崇高なものを尊重する豊かな情操を培う。また、我が国の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養う。

【年間計画】

学期		1 年	2 年	3 年
一 学 期	4	◎オリエンテーション 姿勢・呼吸等の習慣作り	◎明るく響きのある伸びや な歌声・ハーモニーを味わ	◎日本歌曲の詩情豊かな現表 と歌声 「花」 「花の街」
	5	校歌 ◎拍子やリズムの特徴 基本リズムの感得・表現	「夢の世界を」 「翼をください」	「早春賦」 「共通教材」
	6	◎発声 簡易な合唱	◎リズム学習 ◎発声・混声合唱	◎明るく、深く、響きのある 歌声 ・ハーモニーを味わおう
	7			
二 学 期	9	◎イメージと音楽	◎世界の音楽	◎世界音楽紀行
	10	◎混声二部合唱 合唱コンクールに向けて	◎混声三部合唱	◎混声三部合唱 合唱コンクールに向けて
	11	◎曲の雰囲気を感じ取ろう		◎日本の音楽に親しむ
	12	鑑賞教材から「春・魔王」	合唱コンクールに向けて ◎オペラと日本音楽に親し 「アイダ・歌舞伎」	
三 学 期	1	◎思いを込めて歌おう	◎思いを込めて歌おう	◎思いを込めて歌おう 卒業式の練習
	2	卒業式の練習 混声三部合唱	卒業式の練習 混声三部合唱	混声三部合唱 (学級・学年・全校)
	3	(学級・学年・全校)	(学級・学年・全校)	

美術科

学習指導要領	○知識及び技能
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
	○学びに向かう力、人間性等
	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

本校音楽科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第1学年	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
第2学年及び第3学年	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

道徳教育との関連

生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を伸ばし、感性を豊かに心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【年間計画】

学期	1 年	2 年	3 年
一 学 期	感じる心を大切に 出会って広げよう 図画工作、そして…美術（鑑賞） 見て感じて、描く 花の生命 鉛筆で描く なぜか気になる情景 水彩で描く 遠近感を表す デザインの扉を開こう 鑑賞との出会い（鑑賞）	学びを深めよう 表現の可能性を求めて 新鮮な視点でとらえよう 東へ、西へ…（鑑賞） 現代に受けつがれる浮世絵版画 座ることから考える（鑑賞）	美を探し求めて 夢をかたちにするデザイン 「ゲルニカ」は語る（鑑賞） イメージを形で表現しよう 石を彫る ここでシャッターを切った理由 写真撮影の第一歩 刻まれた祈り 仏像の種類（鑑賞）
二 学 期	楽しく伝える文字のデザイン 三原色から生まれる色 色を学ぶ身近な人を見つめて 私が見つけた物語（鑑賞） 楽しく伝える文字のデザイン 三原色から生まれる色 色を学ぶ	現代に受けつがれる浮世絵版画 日本美術の展開と世界との交流 墨が生み出す豊かな世界（鑑賞） 水墨画の技法 等角投影図	日本の伝統色 光と影の空間演出 自然を愛でる空間 日本の世界文化遺産 魅力が伝わるパッケージ アートを体験する場に出かけよう （鑑賞）
三 学 期	記憶に残るシンボルマーク 使いたくなる焼き物をつくろう 伊藤若冲（鑑賞）	やさしさのデザイン 配色・構成美の要素 日本の美意識 尾形光琳 名画の魅力に迫る（鑑賞） レオナルド・ダ・ヴィンチ 光が生むリアルとドラマ まちを彩るパブリックアート	デザインで変える現在と未来 アートを体験する場に出かけよう 表紙「アーク・ノヴァ」（鑑賞） 共同制作の魅力 アニメーションの表現 あなたへ～中学校美術からの巣立 ち～

保 健 体 育 科

学 習 指 導 要 領	○知識及び技能
	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
	○学びに向かう力、人間性等
	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

本校保健体育科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第1学年及び第2学年 体育分野	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようになるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。
第3学年 体育分野	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようになるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。
保健分野	個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

道徳教育との関連

体育分野における様々な運動の経験を通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力する、一人一人の違いを大切にするといった態度を養う。また、健康・安全についての理解によって、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直すことにつながる。

【年間計画】

2021年度 東和中保健体育科 年間計画

月	週	1	2	3	備考	月	週	1	2	3	備考	月	週	1	2	3	備考
4	2	オリ テ	陸 ／ バ	陸 ／ バ	9日始業式	8	4	水 泳	水 泳	水 泳	26日始業式	1	1	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	6日始業式
4	3	陸 ／ バ	陸 ／ バ	陸 ／ バ		9	1	ソ ／ 器	ソ ／ 器	ソ ／ 器		1	2	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	
4	4	陸 ／ バ	陸 ／ バ	陸 ／ バ		9	2	ソ ／ 器	ソ ／ 器	ソ ／ 器		1	3	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	3年学年末テ
5	1				GW連休	9	3	ソ ／ 器	ソ ／ 器	ソ ／ 器		1	4	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	
5	2	陸 ／ バ	陸 ／ バ	陸 ／ バ	家庭訪問	9	4	ソ ／ 器	ソ ／ 器	ソ ／ 器	27.28中間テスト	2	1	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	① 剣/ダ ②③ サ/バ	
5	3	バ ／ 陸	バ ／ 陸	バ ／ 陸		10	1	長 距 離	長 距 離	長 距 離		2	2	① ダ/剣 ②③ バ/サ	① ダ/剣 ②③ バ/サ	① ダ/剣 ②③ バ/サ	
5	4	バ ／ 陸	バ ／ 陸	バ ／ 陸	24. 25中間テスト	10	2	長 距 離	長 距 離	長 距 離		2	3	① ダ/剣 ②③ バ/サ	① ダ/剣 ②③ バ/サ	① ダ/剣 ②③ バ/サ	
6	1	バ ／ 陸	バ ／ 陸	バ ／ 陸		10	3	長 距 離	長 距 離	長 距 離		2	4	3年 バド	3年 バド	3年 バド	1,2年学年末テ
6	2	バ ／ 陸	バ ／ 陸	スポ テ		10	4				宿泊研修 職場体験 校外学習	3	1	① ダ/剣 ②③ バ/サ	① ダ/剣 ②③ バ/サ	① ダ/剣 ②③ バ/サ	
6	3	スポ テ	スポ テ	スポ テ	プール掃除・注水 (6月15日)	11	1	長 距 離	長 距 離	長 距 離	5日持久走大会	3	2	① ダ/剣 ② バ/サ	① ダ/剣 ② バ/サ	① ダ/剣 ② バ/サ	10日卒業式
6	4	スポ テ	スポ テ	スポ テ	25日スマイルカップ 期末テスト 29～1	11	2	器 ／ ソ	器 ／ ソ	器 ／ ソ	20日県駅伝	3	3	① ダ/剣 ② バ/サ	① ダ/剣 ② バ/サ	① ダ/剣 ② バ/サ	
7	1	水 泳	水 泳	水 泳		11	3	器 ／ ソ	器 ／ ソ	器 ／ ソ	23日合唱コンクール	3	4	① ダ/剣 ② バ/サ	① ダ/剣 ② バ/サ	① ダ/剣 ② バ/サ	24日終業式
7	2	水 泳	水 泳	水 泳		11	4	器 ／ ソ	器 ／ ソ	器 ／ ソ							
7	3	水 泳	水 泳	水 泳	個人懇談 20日終業式	12	1	器 ／ ソ	器 ／ ソ	器 ／ ソ	1～3期末テスト						
						12	2	体 ／ 理	体 ／ 理	体 ／ 理	11日市駅伝						
						12	3	体 ／ 理	体 ／ 理	体 ／ 理							
						12	4	体 ／ 理	体 ／ 理	体 ／ 理	個人懇談						
陸上・・・9時間程度 バレーボール・・・9時間程度 水泳(前半)・・・7時間程度 保健・・・6時間程度						水泳(後半)・・・3時間程度 器械運動・・・9時間程度 ソフトボール・・・9時間程度 長距離走・・・10時間程度 体づくり運動・・・4時間程度 体育理論・・・4時間程度 保健・・・6時間程度						1年 剣道・・・12時間程度 ダンス・・・12時間程度 2年 サッカー・・・12時間程度 バスケット・・・12時間程度 3年 サッカー・・・8時間程度 バスケット・・・8時間程度 バド・・・3時間程度 保健・・・4時間程度					

技術家庭科

学習指導要領	○知識及び技能
	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
	○学びに向かう力、人間性等
	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

本校技術家庭科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
技術分野	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
家庭分野	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

道徳教育との関連

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。

【年間計画】

(技術科)

学期	1年(35時間)	2年(35時間)	3年(17.5時間)
一 学 期	【 ガイダンス 】 ・ 3年間の学習内容について知り、見通しをたてる。 【 情報 】 ・ 情報の技術の原理・法則と仕組みを知る。	【 材料と加工 】 ・ 材料の特徴と利用方法や材料に適した、加工法を知り、工具や機器を安全に使用する。	【 エネルギー変換 】 ・ エネルギーの変換方法、力の伝達や機器の基本的な仕組みを知り、それら保守点検と事故防止について考える。 ・ 制作品の組立て・調整や、電気回路の配線・点検を行う。 【 情報 】 ・ プログラムが、生活や社会を支えていることを考える ・ ロボットを利用し、日常に使われているプログラムを身につける。 ・ これからの社会におけるプログラムの重要性について考える。
二 学 期	・ 双方向性のあるコンテンツのプログラムによる問題解決について考える。 ・ 計測制御のプログラミングによる問題解決を考える。	・ 使用目的や使用条件に即した機能を構造について考え、部品加工や組み立て及び仕上げをする。 【 生物育成 】 ・ 生物育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知り、栽培する。 【 情報 】 ・ 双方向性のプログラムについて考え、プログラムを制作する。	
三 学 期	・ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムを制作し統合的な問題解決を考える。		

(家庭科)

学期	1年(35時間)	2年(35時間)	3年(17.5時間)
一 学 期	ガイダンス 家族・家庭と地域 1 私たちの生活と家族・家庭の機能 2 中学生としての自立 3 家庭生活と地域との関わり これからの家族と地域 1 家族のかかわり 2 家族や地域の高齢者との関わり 3 地域での協働を目指して 食事の役割と中学生の栄養の特徴 1 どうして食事をするのだろう 2 私たちの食生活 3 栄養素ってなんだろう 4 中学生に必要な栄養	住まいのはたらき 1 住まいの様々な役割 2 共に住もう 健康で安全な住まい 1 家族の健康と室内環境 2 家庭内の安全 住まいと地域 1 災害への備え 2 災害時の住まいと暮らし 3 地域に配慮した住まい方 日常着の活用 1 自分らしくコーディネート 2 衣服のはたらき 3 衣服の構成 4 衣服の入手計画と選び方	幼児の生活と遊び 1 わたしの成長をたどる 2 幼児の体の発達 3 幼児の心の発達 4 幼児の新進の発達と家族の役割 5 子どもの成長と地域 6 幼児の遊びと発達 7 幼児の遊びを支える 家庭生活と消費 1 消費生活のしくみ 商品の選択と購入 1 商品購入のプロセス 2 生活情報の活用 3 購入方法と支払い方法
二 学 期	中学生に必要な栄養を満たす食事 1 食品に含まれる栄養素 2 何をどれくらい食べればよいか 3 バランスの良い献立作り 調理のための食品の選択と購入 1 食品の選択と購入 2 生鮮食品の特徴 3 加工食品の特徴 4 食品の保存と食中毒の防止	日常着の手入れ 1 衣服の汚れと手入れ 2 衣服の素材と手入れ 3 衣服の洗濯 4 衣服の収納・保管 5 衣服の補修	よりよい消費生活のために 1 契約と消費生活のトラブル 2 消費者を支えるしくみ 3 消費者の権利と責任
三 学 期	食の調理と地域の食文化 1 日常食の調理 2 野菜・いもの調理 3 肉の調理 4 魚の調理 5 日本の食文化と和食の調理 6 持続可能な食生活を目指して	調理をしよう 2 調理の基本 3 肉の調理 4 魚の調理 5 野菜の調理 地域の食材と食文化 1 地域の食材と郷土料理 2 受け継がれる食文化	環境に配慮した消費生活 1 自ら取り組むエコ生活 2 地域や社会での協力 3 持続可能な社会

英 語 科

学習指導要領	○知識及び技能
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
	○思考力、判断力、表現力等
	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
	○学びに向かう力、人間性等
	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

本校英語科における学習目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第1学年	日常的话题について話されたことや簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を理解する技能を身に付けるようにする。また、関心のある事柄について、即興で伝えたり、発表したり、書いたりして表現する技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や関心のある事柄について話されたことや簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を理解し、これらを活用して表現したり伝えあったりする力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、日常的话题や関心のある事柄について主体的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。
第2学年	日常的话题について話されたことや簡単な語句や文で書かれたものから概要をつかみ取る技能を身に付けるようにする。また、自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文で伝えたり、質問に対して答えたりする技能やまとまりのある内容を発表したり、書いたりする技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题について話されたことや簡単な語句や文で書かれたものから概要をつかみ取り、それらを活用して表現したり伝えあったりする力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、日常的话题について主体的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。
第3学年	社会的な話題について話されたり書かれたりしたものの要点を捉えることができる技能を身に付けるようにする。また、社会的な話題に関して聞いたり、読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由を簡単な語句や文を使って述べ合ったり、発表したり、文章で表現したりする技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、社会的な話題について話されたり書かれたりしたものの要点を捉え、それらを活用して表現したり、伝えあったりする力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、社会的な話題について主体的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。

道徳教育との関連

外国の文化や習慣を理解し、国際的視野に立って行動する態度を身に付ける。

【年間計画】

学期	1 年	2 年	3 年
一 学 期	Unit 0 Welcome to Junior High School Unit 1 New school, New Friends 自分がふだんよくすることや、 できることを伝えることができる。 Unit 2 Our New Teacher 身近な人やものについて紹介し たり、たずねたりすることができる。 Unit 3 Club Activity いつ・どこなのかをたずねた り、数をたずねたりすることが できる。 Unit 4 Friends in New Zealand 相手に指示したり、時刻や好き なものをたずねたりすることが できる。 Unit 5 A Japanese Summer Festival 行った場所や、そこで楽しんだ ことなどについて話すことが できる。 Stage Activity 1 "All about Me" Poster 自分の好きなことについて、つ ながりのある文章を書く。	Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 A Trip to Singapore 休暇や週末の予定について、た ずねたり伝えたりすることが できる。 Unit 2 Food Travels around the World 好きな食べ物やその理由につい て、紹介文を書くことができる。 Unit 3 My Future Job 自分が体験したことや学んだこ となどについて、たずねたり伝 えたりすることができる。 Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future 好きなことや得意なことについ て話し合い、自分に合うと思う 仕事について書こう。	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages Unit 1 Sports for Everyone これまで経験したことに基づい て、相手に合ったプランを伝える ことができる。 Unit 2 Haiku in English ずっと好きなことや、これまで取 り組んできたことについて伝え合 うことができる Unit 3 Animals on the Red List 自分の意見や考えを加えて記事 を書くことができる。 Stage Activity1 My Activity Report これまでの経験を振り返って活 動報告を発表する。
二 学 期	Unit 6 A Speech about My Brother 自分と相手以外の人やものなど について、たずねたり伝えたり することができる。	Unit 4 Homestay in the United States 習慣やマナーについて、たずね たり伝えたりすることができる。	Unit 4 Be Prepared and work Together 標識が何を意味しているかを説明 することができる。

二 学 期	Unit 7 Foreign Artists in Japan 自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりすることができる。 Unit 8 A Surprise Party 今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 Unit 9 Think Globally, Act Locally したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 Stage Activity 2 My Hero 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりする。	Unit 5 Universal Design 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。 Unit 6 Research Your Topic 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 Stage Activity 2 Research and Presentation クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表しよう。	Unit 5 A Legacy for Peace 人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。 Stage Activity2 Discover Japan 日本や郷土の文化などを紹介する文を詳しい情報を加えながら書く。
三 学 期	Unit 10 Winter Vacation 過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 Unit 11 This Year's Memories 過去の状態や気持ち、過去のあつた時点にしていたことについて説明することができる。 Stage Activity 3 My Favorite Event This Year 思い出に残った学校行事について発表する。	Unit 7 World Heritage Sites 各地の世界遺産を紹介することができる。 Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えよう。	Unit6 Beyond Borders 架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 Stage Activity3 Let's Have a Mini Debate 主張とその理由を明確にしながからディベートする。